2014 対馬ヤマネコボーイズ

第7回全国離島交流中学生野球大会

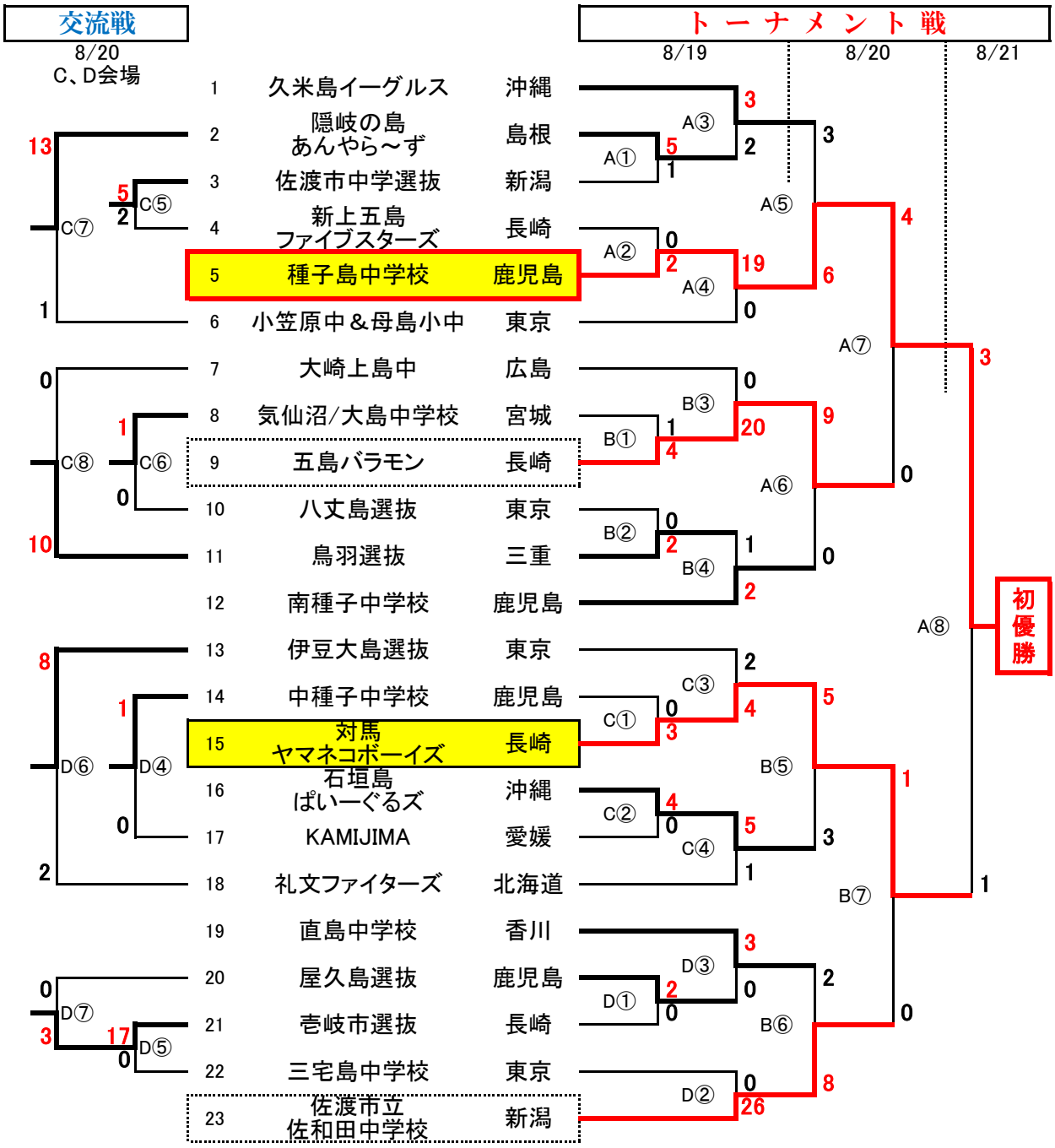
準優勝記念

第7回離島交流中学生野球大会
準優勝
平成26年8月21日
日本プロ野球選手会
会　長　島　基宏
理事長　東出　輝裕

監督：市山弘継　　コーチ：阿比留善雄

国土交通大臣杯
第７回全国離島交流中学生野球大会

会　　期　平成26年8月18日～21日（試合三日間）
開 催 地　新潟県佐渡市
試合会場　A:畑野野球場　B:佐和田野球場
　　C:両津野球場　D:金井野球場



回	年度	会場	対馬チームの戦績		決勝戦スコア		
1	20年	伊豆大島	【二】 ● 2-3 鳥羽選抜	【交流】 ● 5-6 佐渡選抜	隠岐の島	3-1	伊豆大島
2	21年	隠岐の島	【一】 ○ 10-0 KAMIJIMA 【二】 ○ 5-1 隠岐・西ノ島	【準】 ● 3-4 伊豆大島	壱岐	6-2	伊豆大島
3	22年	種子島	【一】 ○ 2-0 久米島 【二】 ○ 2-0 八丈島	【準】 ● 0-4 隠岐の島	隠岐の島	5-3	種子島中
4	23年	愛媛・上島	【一】 ○ 4-3 伊豆大島 【二】 ○ 8-5 屋久島	【準々】 ● 1-2 久米島	雨天中止で久米島とKAMIJIMA		
5	24年	八丈島	【一】 ○ 5-1 南大東島 【二】 ○ 3-1 礼文・香深中	【準々】 ● 1-2 隠岐の島	隠岐の島	2-1	久米島
6	25年	壱岐	【一】 ○ 6-3 隠岐の島	【二】 ● 3-6 伊豆大島	壱岐	3-1	久米島
7	26年	佐渡	【一】 ○ 3-0 中種子中 【二】 ○ 4-2 伊豆大島	【準々】○ 5-3 石垣島 【準】 ○ 1-0 佐渡・佐和田中	種子島中	3-1	対馬

【一回戦】

（6回時間切れコールド）

8/19・A①	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
佐渡市中学選抜	0	1	0	0	0	0				1
隠岐の島あんやらーず	0	0	2	0	3	X				5

8/19・A②	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
新上五島ﾌｧｲﾌﾞｽﾀｰｽﾞ	0	0	0	0	0	0	0			0
種子島中学校	0	1	0	0	0	1	X			2

8/19・B①	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
五島バラモン	1	0	0	1	0	1	1			4
(気仙沼)大島中学校	0	0	0	1	0	0	0			1

（6回時間切れコールド）

8/19・B②	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
八丈島選抜	0	0	0	0	0	0				0
鳥羽選抜	0	0	0	0	2	0				2

（6回時間切れコールド）

8/19・C①	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
対馬ヤマネコボーイズ	0	0	0	0	0	3				3
中種子中学校	0	0	0	0	0	0				0

8/19・C②	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
石垣島ばいーぐるズ	1	0	0	1	1	0	1			4
KAMIJIMA	0	0	0	0	0	0	0			0

（6回時間切れコールド）

8/19・D①	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
屋久島選抜	0	0	0	0	2	0				2
壱岐市選抜	0	0	0	0	0	0				0

【二回戦】

（6回時間切れコールド）

8/19・A③	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
久米島イーグルス	2	1	0	0	0	0				3
隠岐の島あんやらーず	1	0	1	0	0	0				2

8/19・A④	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
小笠原村	0	0	0	0	0	0	0			0
種子島中学校	8	0	0	0	2	9	X			19

（3回時間切れコールド）

8/19・B③	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
五島バラモン	4	3	13							20
大崎上島中学校	0	0	0							0

（6回時間切れコールド）

8/19・B④	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
鳥羽選抜	0	0	0	0	0	0				1
南種子中学校	1	1	0	0	0	X				2

（6回時間切れコールド）

8/19・C③	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
伊豆大島選抜	0	0	0	1	0	1				2
対馬ヤマネコボーイズ	1	1	0	2	0	X				4

（6回時間切れコールド）

8/19・C④	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
石垣島ばいーぐるズ	1	0	0	3	1	0				5
礼文ファイターズ	0	0	1	0	0	0				1

（4回時間切れコールド）

8/19・D②	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
佐渡・佐和田中	7	2	0	17						26
三宅島中学校	0	0	0	0						0

（6回時間切れコールド）

8/19・D③	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
屋久島選抜	0	0	0	0	0	0	0			0
直島中学校	0	1	0	0	0	2	X			3

【準々決勝戦】

（6回時間切れコールド）

8/20・A⑤	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
久米島イーグルス	0	0	0	3	0	0				3
種子島中学校	0	1	3	2	0	0				6

（6回時間切れコールド）

8/20・A⑥	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
五島バラモン	0	0	3	0	3	3				9
南種子中学校	0	0	0	0	0	0				0

（6回時間切れコールド）

8/20・B⑤	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
石垣島ばいーぐるズ	0	2	0	0	0	1	0			3
対馬ヤマネコボーイズ	0	1	0	0	3	1	X			5

（6回時間切れコールド）

8/20・B⑥	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
直島中学校	0	0	1	0	1	0				2
佐渡・佐和田中	2	1	1	4	0	X				8

【準決勝戦】

8/20・A⑦	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
五島バラモン	0	0	0	0	0	0	0			0
種子島中学校	0	0	0	0	0	4	X			4

【準決勝戦】　（延長8回は無死満塁制）

8/20・B⑦	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
佐渡・佐和田中	0	0	0	0	0	0	0	0		0
対馬ヤマネコボーイズ	0	0	0	0	0	0	0	1x		1

【決勝戦】

8/21・A⑧	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
対馬ヤマネコボーイズ	1	0	0	0	0	0	0			1
種子島中学校	1	0	0	0	2	0	X			3

【交流戦】

8/20

C⑤	佐渡選抜	111 020	時	5
	新上五島	200 000	間	2
C⑥	気仙沼	001 000	時	1
	八丈島	000 000	間	0
C⑦	小笠原	000 10	時	0
	隠岐の島	⑫10 0X	間	13
C⑧	大崎上島	000 00	時	0
	鳥羽	014 5X	間	10

D④	KAMIJIMA	000 000 0		0
	中種子中	000 000 1x		1
D⑤	三宅島	000 000 0		0
	壱岐	426 203 X		17
D⑥	伊豆大島	314 000	時	8
	礼文	100 010	間	2
D⑦	壱岐	010 110	時	3
	屋久島	000 000	間	0

組み合わせ抽選会

8月18日　17:00～
アミューズメント佐渡

開会式

8月19日
サンスポーツランド畑野野球場

優勝旗返還
前年度：壱岐市

選手宣誓
佐渡：佐和田中学校

【一回戦】10:33～　1時間30分(6回時間切れ)

8/19・両津野球場	一	二	三	四	五	六	七	計
対馬ヤマネコボーイズ	0	0	0	0	0	3		3
中種子中学校	0	0	0	0	0	0		0

【対馬】

					盗	失
⑥	中島　泰志	6-3	二飛	5-3E	0	0
⑦	大島　卓真	左飛	四球	6-2	0	0
⑤	中村　嶺志	5-3E	三邪	三振	0	0
①3	阿比留魁士	5-3	中安	右中三	1	0
⑧	早田　楓真	死球	三犠	中越三	0	0
③1	小宮　誠也	4-3	5-2	四球	1	0
②	島崎　峻也	投犠	三振	死球	0	0
④	大石　孝徳	左飛	四球	投飛	0	0
⑨	斉藤　大夢	4-3	四球	5-3	0	0

【中種子】

③	折戸	三邪	三邪	2-3
⑨	濱山	四球	三振	…
H	浦門	…	…	三振
⑥1	日高	左飛	三振	6-3
②	大山	捕妨	4-3	5-3
①86	濱田	一飛	遊飛	
⑦	鎌田	三振	5-3	
⑧18	隅田	9-3	左安	
⑤	堤	中安	中二	
④	田平	投犠	四球	

対馬は五回まで毎回走者を出したが後続が無かった。初回二死後に中村が三ゴロ悪送球で二進するも(右写真)、阿比留が三ゴロに倒れた。

二回は先頭の早田が死球出塁。二ゴロと島崎の送りバントで二死三塁としたが大石の当りはレフトフライ(右)。

三回は大島四球も二死後。四回は先頭の阿比留が中前打(下写真)で出ると二盗も決め、早田の三塁への送りバントで一死三塁。続く小宮の三ゴロで本塁を突いたが憤死した。

一走の小宮が二盗成功(右写真)し得点機を作るも島崎が倒れた。

さらに五回は大石と斉藤が連続四球で一二塁。中島の三ゴロでベースを踏み一塁へ悪送球で進塁し一死二三塁となった。(下写真:三走は斉藤)

続く大島の遊ゴロで斉藤は本塁を突いたがタッチアウト。なおも二死二三塁では中村が三振に討ち取られた。

対して中種子は初回二死一塁に二盗の際、打者が捕手への守備妨害でアウト。三回は先頭が中前打し犠打二進するも後続無く。五回から登板の小宮に対しては一死後に左安安打するも二盗死。直後の右中間二塁打が暴投と四球の一三塁も１番打者が捕ゴロに倒れた。

五回の二盗死。⑬は中島

五回から登板した小宮

六回表。対馬は先頭の阿比留が左中間を破る三塁打。厳原ウィンズ・コンビの早田もセンターオーバーし余裕で三塁へ(下写真)。続く小宮と島崎の四死球の後に満塁で、暴投に恵まれて早田と小宮が相ついで生還し３点目を挙げた。

リリーフの小宮は中種子中の六回裏を３人で斬り好救援した。

投手:阿比留魁士⑮

捕手:島崎峻也⑨

一塁:小宮誠也⑪

三塁:中村嶺志⑩

遊撃:中島泰志⑬

二塁:大石孝徳①

左翼:大島卓真②

中堅:早田楓真⑯

右翼:斉藤大夢⑭

対馬のとんちゃんパワーがさく裂した。５回裏まで緊迫した投手戦が繰り広げられた。６回表無死三塁。167cm84kgの対馬ヤマネコボーイズの“とんちゃん”こと早田楓真が右中間への決勝三塁打を放った。「次につなぐことを考えて打席に入ったら打てました。とんちゃんは週１回ぐらい食べる大好物です。早く食べたいです」。中村嶺志主将は「この勝利は楓真のおかげです」と早田の右肩をたたいて、感謝した。

とんちゃんは甘辛の焼き肉ダレに漬け込んだ豚肉をキャベツやもやしなどの野菜と一緒に焼いた料理。12年の「第７回B-１グランプリ」で初出場にしてシルバーグランプリを獲得した。

(日刊スポーツcomより＝写真も掲載された)

三塁ベース上で三塁ベンチに向かってガッツポーズの“とんちゃん”早田。

【二回戦】14:29～　1時間31分(6回時間切れ)

8/19・両津野球場	一	二	三	四	五	六	七	計
伊豆大島選抜	0	0	0	1	0	1		2
対馬ヤマネコボーイズ	1	1	0	2	0	X		4

伊豆大島と対馬の対戦はこれが四度目。第２回隠岐の島大会の準決勝で３－２とリードの最終七回裏に逆転サヨナラ敗戦し決勝進出を阻まれた。二度目が第４回上島大会一回戦で１－１の六回に春田剛希(仁田)の３ランにより４－３で雪辱。第６回壱岐大会では初戦で前年度優勝・隠岐の島を破った(6-3)後の二回戦での対戦は３－６敗戦している。

一回表。先頭を三振で仕留めた阿比留は２番に四球を与えたが一塁牽制球で刺して上々の立ち上がり。その裏の対馬は幸運な先取点を挙げた。中島が三振振り逃げで生きると牽制悪送球で二進。二つのパスボールで幸先の１点。

【伊豆大島】

⑧	秋田	三振	三振	…
H	土屋	…	…	中安
⑥	浜野	四球	1-3	6-4
①	二宮	三振	中二	右安
⑦	沼田	一飛	中安	三振
③	川島	遊安	6E-3	5-3
④	柳瀬	三振	三振	
⑤	中川	4-3	投飛	
②	諸田	死球	…	
9	平野	…	…	
H	板垣	…	四球	
⑨2	平野	1-3	三振	

【対馬】

					盗	失
⑧	早田　楓真	二飛	左飛	三振	0	0
⑥	中島　泰志	三振逃	三内安	6-3	0	1
⑤	中村　嶺志	4-3	一直併	四球	0	0
①	阿比留魁士	四球	5-3	三振	0	0
②	小島　飛翔	6-2	四球	4-3	0	0
③	小宮　誠也	四球	投犠打		1	0
3	須川　慶弥	…	…		0	0
④	島崎　峻也	四球	四球		0	0
⑨	満井　貴弘	4-6	…		0	0
H	原田　龍誠	…	右線二		0	0
9	平尾　浩太	…	…		0	1
⑦	大島　卓真	右飛	6-3		0	0

1番:早田

2番:中島

3番:中村

4番:阿比留

★ 一塁牽制悪送球で中島は二進 ★

5番:小島

二回にも先頭小宮が歩きボークで二進後に三盗。島崎四球の一三塁に満井の二塁ゴロ(一走が二封)で還った。

6番:小宮

7番:島崎

8番:満井

なおも暴投二進の一死二塁は大島がライトフライ。１番に戻って早田はレフトフライに倒れこの回は１点追加したのみに終わった。

三回先頭中島が三塁へのバントヒットで出塁し暴投二進。中村の一塁ライナーで飛び出してダブルプレーを喫した。

9番:大島

対して伊豆大島は二回は内野安打に二盗も後続無く。三回先頭が死球出塁も小島が二盗を阻み、四回は一死後に主将でエースの３番が左中間二塁打。４番の中前打で一三塁が、阿比留の一塁への牽制球で二死三塁。だが続く遊ゴロ悪送球で三走が還り１点差に迫った。

１点差とされた四回裏は先頭小島が四球。小宮のバントで二進。島崎も選んだ一死一二塁に満井の代打は原田。三塁ベンチの声援に手上げて応え左打席からの打球はライト線に二塁打(写真)。

代打:原田

一走の島崎も一気に本塁を突きタイミングアウトだったが捕手が逸して２点を加え突き放す。代打の原田に代わり平

投手:阿比留

捕手:小島

一塁:小宮

二塁:島崎

三塁:中村

遊撃:中島

左翼:大島

中堅:早田

右翼:満井

五回から右翼:平尾

六回から一塁:須川

初回、捕逸生還の中島

尾がライトに入り、五回表の伊豆大島の７番からを投飛、四球(捕手から一塁牽制死)、三振の三者凡退に抑えた。

五回にも四球出塁の中村が二つの暴投で三塁に進んだがここは無得点に終わった。

伊豆大島の六回は先頭安打の一死後に前打席で二塁打の主将が右前打し後逸の間に一走が生還。一死三塁の場面は阿比留が踏んばり７個目の三振と三ゴロに仕留めた。

この試合は阿比留投手の牽制球死が２個。小島捕手の二盗死と一塁牽制球死などで相手の反撃を阻んだのが大きい。

【準々決勝戦】09:29～　1時間40分

8/20･佐和田野球場	一	二	三	四	五	六	七	計
石垣島ぱいーぐる	0	2	0	0	0	1	0	3
対馬ヤマネコボーイズ	0	1	0	0	3	1	X	5

【石垣島】

⑤	美差	三振	5-3	中安
⑦	島袋	遊直	三直	投飛
①	川満	4-3	中安	中安
③	東盛	右安	三振	右二
②	大底	中二	四球	三併
⑧	伊志嶺	中安	三振	左二
⑨	宇根底	三振	3-4	…
H	東與那	…	…	4-3
④	西玉得	二安	4-3	…
H	前津	…	…	二飛
⑥	大嶺	三振	5-3	…
H	比嘉	…	…	3A

【対馬】

					盗	失
⑥	中島　泰志	三振	5-3	左越本	0	0
③	須川　慶弥	6-3	死球	捕邪飛	0	0
⑤	中村　嶺志	三振	捕邪飛	三邪飛	0	0
⑧	早田　楓真	左飛	6-3	四球	1	0
①	阿比留魁士	二内安	右飛	捕邪飛	1	0
②	小島　飛翔	遊飛	…	…	0	0
4	小宮　誠也	…	5-3	左安	0	0
⑦	大島　卓真	左安	6-3	中飛	0	0
⑨	斉藤　大夢	三振	左中三	三振	0	0
④2	島崎　峻也	6-3	四球		0	0

日本最西南端の市で人口４万８千人の石垣島から初出場しチーム名〈ぱいーぐる〉は南の島（ぱいぬしま）から。隣島の西表（いりおもて）島の西は台湾国である。

対馬は最西北端の島で人口３万３千人。チーム名は国指定天然記念物のツシマヤマネコを全国に広めようと第３回種子島大会から使用している（それまでは対馬選抜）。

先制したのは石垣島。二回先頭の４番が右前に転がし暴投で一気に三進すると、左中間二塁打に中前打の連続長短タイムリー打で２点を挙げた。

その裏の対馬は一死後に阿比留が二塁内野安打で出、二盗。（右写真）二死となって大島が三遊間をゴロ抜く適時打。（下写真）

阿比留二盗後に大島が適時打

四回表に四球から二死二塁の三盗や(右上写真)、五回二死後に中前打の１番打者の二盗を阻んだ(右下写真)のは、四回に二塁から捕手に付いた島崎。キャッチングでも好捕し、苦投のエース阿比留を支える。

攻撃のリズムを守りで作った五回裏の対馬は一死後に８番斉藤が左中間突破の三塁打。

島崎が四球の一三塁に１番中島の当りは左翼ポールネットの上段に当たる逆転３ランで２点差を付けた。

対馬エースの阿比留は二回に３連続短長打で２失点したが、五回まで５三振を奪う力投。だが六回一死後石垣島エースの川満に左打席からこの日２本目の中前打され続く４番（左）の右越え二塁打で１点差に迫られた。一死二塁で一打同点の場面で５番打者は三塁ライナー。主将の中村が好捕し二塁に送りダブルプレーに仕留めた。

１点返された六回は先頭早田が四球と二盗。一死後に四回表から入っている小宮が左前に転がすタイムリー打で突き放した。打球は敵失を誘い小宮は三進したが、ここは後続が断たれた。

再び２点差を付けた最終七回表は、先頭６番に左越え二塁打されるも、二ゴロ（三進）、二飛、一ゴロに抑えた。

1番：中島⑬　2番：須川⑦　3番：中村⑩　4番：早田⑯

六回一死二塁で左前タイムリー打の打席

5番：阿比留⑮　6番：小島⑫　代打：小宮

7番：大島②　8番：斉藤⑭　五回の左中間三塁打　9番：島崎⑨

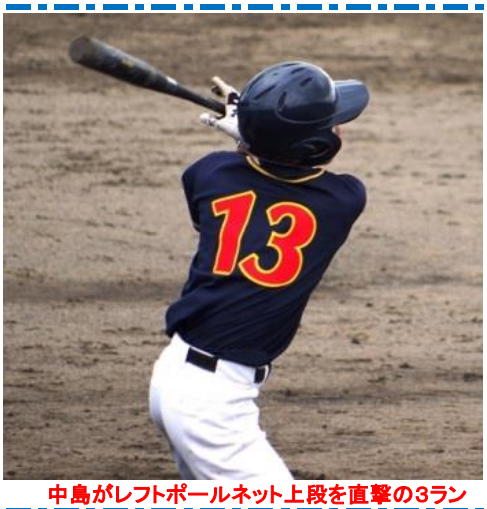
★試合開始と終了の挨拶は主将⑩副主将⑨の次は背番号順に整列している★

ヤマネコ打線に火が付いた。１点を追う５回１死一、三塁。昨日から無安打の１番中島泰志に打席が回ってきた。石垣島ぱいーぐるズエース川満拓也の１２０キロ後半の直球を振り抜くと、左翼ポール(91.5m)上段に当たる逆転３ラン。「無心で振りました。ボール超えのホームランは人生初です。まさか、こんな場面で出るとは…」と驚いた。１９日の１回戦では対馬の“とんちゃん”こと早田楓真が決勝適時三塁打を放った。

中島は「楓真ばかりにおいしい思いはさせません！」と満面の笑みを見せた。中島は試合でも「常に練習と同じ気持ちで臨めるように」との思いから、練習着で出場している。「験かつぎでもありますし、練習着の方が不思議と平常心になれるんです」。

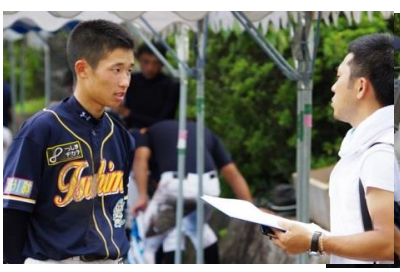
チームは佐渡入り後、特別天然記念物のトキを鑑賞した。「もしかしたらトキのパワーでも、もらったのかもしれません」と、思わぬ勝因も明かした。守備ではエース右腕の阿比留魁斗が７回９安打３失点と安定した投球をした。離島甲子園でのチーム最高成績はベスト４。中島は「ヤマネコ打線で優勝してみせます」と気合を入れた。（日刊スポーツcomより）

五回裏一死後に斉藤が三塁打。島崎⑨は四球


中島がレフトポールネット上段を直撃の3ラン

二塁をまわる島崎と、歓喜の三走・斉藤

六回裏、四球出塁の早田が二盗に成功。小宮の左前打で加点し、レフトが後逸で三塁まで進む。



【準決勝戦】14:42～　1時間39分（延長八回は無死満塁制）

8/20・佐和田野球場	一	二	三	四	五	六	七	八	計
佐渡・佐和田中	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対馬ヤマネコボーイズ	0	0	0	0	0	0	0	1x	1

【佐和田中】

⑥	石川	二飛	二飛	4-3
④	菊田	三振	中飛	5-3
②	若林	三直	1-3	左飛
⑤	若林	投直	5-3	三振
⑧	遠藤	二飛	中飛	
①	小池	5-3	三安	
③	滝	4-3	三振	
⑨	本間	4-3	6-3	
⑦	若林	左安	中飛	

【対馬】

						盗	失
⑥	中島　泰志	1-3	右安	4-3	左安	0	0
⑤	中村　嶺志	1-3	一邪飛	4-3		0	0
④	小宮　誠也	投内安	二飛	三飛		0	0
⑧	早田　楓真	一邪飛	捕邪飛	左線二		0	0
①	阿比留魁士	三振	6-3	投飛		0	0
③	須川　慶弥	一邪飛	3A	三振		0	0
R	原田　龍誠	…	…	…		0	0
⑦	大島　卓真	二直	1-3	1-3		0	0
⑨	斉藤　大夢	一飛	中安	5-3		0	0
②	島崎　峻也	四球	三振	三振		0	0

三塁側スタンドには前試合に引き続いて佐和田中ブラスバンド部32人の応援演奏を含めた、地元住民ら400人以上の大応援団が陣取り試合開始。

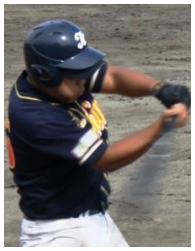
そのプレッシャーを味方に引き入れた対馬の阿比留は前試合完投に続いて連投を市山監督に直訴。立ち上がりから８人を討ち取り、９番打者に左前打されたが絶妙の牽制球で刺した。

さらに５人を討ち取った五回二死後に相手エースの７番小池から三塁へバント安打されたが、これも牽制球で一塁に刺した。

結局七回を21人で抑えた阿比留を援護する打線は初回二死後に今大会４試合目で初の３番の小宮が投手内野安打で出塁。⇒前試合の石垣島戦に続いて４番に座った早田は一塁邪飛で後続無かった。

1番・中島

2番・中村



4番・早田

二回は三振、一邪飛、二直で三者凡退に終わった。

5番・阿比留

6番・須川

7番・大島

三回一死後に島崎が四球。１番に戻って中島が一二塁間をゴロで抜き一二塁で先制機を迎えた。

8番・斉藤

9番・島崎

1番・中島

パスボールで二三塁となり、中村のスクイズは一塁ファールフライ。走者は戻り事無きを得たが続く小宮も二飛に倒れて好機を逸した。

四回の４番からは捕邪飛、遊ゴロ、一ゴロに抑えられた。五回一死後に斉藤の左前打が後逸の間に三塁まで進んだ。

三走の斉藤と試合開始前の円陣の中心でナインに気合？を入れる島崎はファール(→)の後に三振。３打席目となる１番中島も二ゴロで斉藤を還すことができなかった。

六回。二死後に４番早田がレフト線二塁打して大黒柱の阿比留に託したが投飛で六回までに三度の得点圏内に走者を残した。

七回を終えて０－０は特別延長戦に突入。無死満塁制継続打順の佐和田中は打順良く４番からだったが２球目にスクイズ。これを投げる瞬間に見破った阿比留が高めに外し空振り。三走は三本間に憤死。なおも二三塁に３バントスクイズを見破った阿比留は空振りに仕留め、三走もタッチアウトのダブルプレーで切り抜けた。

八回裏の対馬は厳原ウィンズで阿比留の球を受け今試合でも好リードの９番島崎から。強攻させたが三振の一死後。前試合の石垣島戦で決勝３ランの中島がレフトオーバーのサヨナラ打を放ち、代走の原田が本塁を踏んだ。

離島甲子園に第１回大会から参加している対馬は、第２回隠岐の島大会(3-4/伊豆大島)、第３回種子島大会(0-4/隠岐の島)の準決勝戦で共に敗れ決勝戦進出を果たせなかったが、翌日の決勝戦に初めて進出した。

あの１球ー。規定の７回を終了し、０-０の緊迫した投手戦が繰り広げられた。タイブレーク方式の延長戦は、無死満塁からの得点数を競った。

０-０で迎えた８回裏１死満塁。佐和田中のエース小池拓哉の甘く入った内角直球を対馬の中島泰志が肘をたたんで左翼線に運んだ。その瞬間 小池は空を見上げ両目を左手で覆った。「キャッチャーは外角低めを要求していたのに、内にいってしまった。後悔の１球です」と悔やんだ。

７回まで小池と対馬のエース阿比留魁士との投げ合いだった。小池は対馬の「ヤマネコ打線」を７回４安打、阿比留は同２安打と抑えていた。

地元開催のため、球場には佐和田中のブラスバンド部や住民ら約400人が集まり万全な“ホーム態勢”だった。その分、悔しさも大きかった。小池は「絶対優勝したかった。このチームなら優勝できると思った。最高のチームメートと３年間楽しく野球が出来て良かったです」と振り返った。

佐和田中は今夏、県大会にも出場した。大谷伸夫監督は「今年は歴代の中でも強いチームでした。この負けは私の責任です」と話した。

試合終了後は地元住民らから惜しみない拍手が送られた。選手は球場隣の学校でユニホームから体操着に着替えて、寂しそうに帰宅した。

（日刊スポーツcomより）

延長八回、無死満塁の場面。三走は代走原田。島崎は三振で一死。

ここで中島がレフトオーバー！！

三走原田が生還しサヨナラ。だが中島は二塁を蹴り、三塁も廻ってベンチを飛び出したナインに迎えられて歓喜のホームイン

試合終了のあいさつは興奮のあまりか、
⑬中島～⑪小宮の間が順列していない

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	計
佐渡市立佐和田中学校野球部	0	0	0	0	0	0	0	0					0
対馬ヤマネコボーイズ	0	0	0	0	0	0	0	1					1

みんないい顔をしている(^〇^)

【決勝戦】08:55～　1時間55分

8/21・畑野野球場	一	二	三	四	五	六	七	計
対馬ヤマネコボーイズ	1	0	0	0	0	0	0	1
種子島中学校	1	0	0	0	2	0	X	3

全国の離島で第５位の面積(人口約33,000人)の種子島が、佐渡、奄美大島に次いで第３位(約33千人)の対馬を破り離島甲子園初の日本一になった。

第３回種子島大会では種子島中が決勝戦進出したが準決勝戦で対馬を倒した隠岐の島に対して１－１延長九回で決着付かず、無死満塁制の特別延長十回、３－５惜敗の準優勝に終わっている。

種子島には西之表市、中種子町、南種子町の３市町があり、決勝戦前に敗退した２町中学校ナインの同郷応援に報いた。

【対馬】

						盗	失
⑥	中島　泰志	三振	中飛	二飛	三振	0	0
④2	島崎　峻也	右安	四球	3-4	左飛	1	0
⑧	早田　楓真	三飛	三振	三振	四球	0	0
①	阿比留魁士	左越二	四球	5-3	中飛	0	1
③	小宮　誠也	1-3	四球	四球		0	0
⑨	斉藤　大夢	三振	左安	5-4		1	0
9	平川　魁晟	…	…	…		0	0
⑦	大島　卓真	中安	5-3	中安		0	0
7	庄司　裕豪	…	…	…		0	0
②	小島　飛翔	左飛	三振	…		0	1
H	原田　龍誠	…	…	三振		0	0
4	吉野　友基	…	…	…		0	0
⑤	中村　嶺志	一邪飛	右安	左飛失		0	0

【種子島中】

					盗	失
③6	美坂	左二	5-3	四球	0	0
⑨	松田	投犠	投飛	5-4	0	0
⑥1	深田	四球	3-1	右三	0	0
⑧	深見	捕飛	死球	四球	1	0
⑤	長倉	三邪	三邪	5-3	0	0
⑦	野崎	右飛	中飛	三飛	0	1
①3	牛野	4-3	投安	…	0	0
R3	峯下	…	…	5-3	0	0
②	山口	死球	5-3	5-3	1	0
④	松尾	5-3	中飛		0	0

先攻の対馬は一死後に島崎が右前に転がし二盗も決めた後に阿比留の左翼フェンスをバウンドで越える二塁打で先取した。

★種子島中も主将⑩を先頭に背番号順に整列してあいさつ★

種子島も先頭が左越え二塁打。続くバント悪送球で還り同点とした。続く四球や暴投で二三塁と攻め立て二死後に６番の打球はライトへ。ムードメーカーの斉藤が好捕し、ベンチ前でナインから称えられる。（下写真左）

改めてベンチ前で気合を入れ直し、地面に手を当てて心を落ちつかせ二回の攻撃に臨んだ。（下写真中央＆右）

その後、対馬は毎回走者を出すが得点できない。二回は一死後に大島の右中間安打で出塁(写真右)も投手牽制球で刺されると、三回は二死後に島崎が四球出塁。期待された早田のバットは空を斬った。(写真右)

四回には先頭阿比留が四球出塁するも種子島左腕の牛野の牽制球に刺された後に、小宮が四球。斉藤の左前打で一死一二塁となったところで、種子島はエースの深田が登板し大島を三ゴロ(二三進)に、小島を三振に仕留めた。

種子島も二回死球の二死三塁。三回二死後の死球。四回一死後に内野安打も二盗死で追加点が奪えない。

戦況を見つめる三塁コーチと一塁コーチ

☆ 種子島先発左腕の牛田と、四回一死一二塁から救援の深田 ☆

五回の対馬は先頭中村が右前打。上位に戻ったが島崎の一ゴロで二進しただけに終わった。

五回裏の種子島は一死後に１番が四球。三ゴロで走者が代った二死後に３番深田。ライト線三塁打し均衡を破った。続く四球の一三塁に二盗への送球が悪送となって三走の深田が還り２点目。

五島バラモンと壱岐選抜が応援

反撃の六回表、一死後に小宮が四球。三ゴロ二封で走者が代り斉藤が二盗成功(写真下)。続く大島の中前打で二死一三塁と攻めたが代打の原田が三振。

六回裏。代打原田に代わって大会初出場の吉野が二塁に入り(写真下)、種子島の６番からを三飛と連続三ゴロに抑え２点差を追う最終七回表を迎えた。

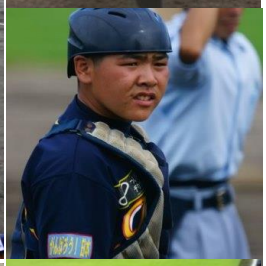
先頭の主将中村が左飛失で二塁まで進み、１番に戻り中島は三振。島崎が左飛の二死から早田が選んで一二塁。ここで初の決勝戦まで進んだ立役者の阿比留が２ボール１ストライクからの４球目を叩くと打球は左翼ポールの上空を越えた。逆転３ランかと思われたが三塁塁審の判定は「ファールボール」。気を取り直した打球はセンターフライで、対馬ヤマネコボーイズの『2014・佐渡の夏』は終わった。

第７回全国離島交流中学生野球大会の決勝は種子島中が対馬ヤマネコボーイズを下し初優勝を飾った。鹿児島県勢初優勝の主役は深田球児だった。同点の４回１死一二塁で先発牛野海斗からスイッチ。「ストレートがきていたのでどんどん押していこうと思っていました」。目標とするカブス藤川球児投手ばりの“炎の直球”と多彩な変化球で、強打のヤマネコ打線を４回途中２安打無失点に封じた。

バットでも決勝点を叩き出した。５回２死一塁から右翼線を破る適時三塁打。投打でチームを勝利に導きＭＶＰを受賞。「獲れると思っていなかったのでビックリしました」と目を丸くした。種子島中は昨年８月の全国中学校軟式野球大会で優勝。２年生ながら深田はレギュラー入り。全国大会と離島甲子園の２冠に輝き、「すごくうれしいです」とニッコリ笑った。

「ヤマネコ打線」が不発に終わった。１回表に４番阿比留魁士の左翼越え適時二塁打で先制するも、種子島の２番手深田に完璧に抑えられた。４回と６回には走者を三塁まで進塁させたが決定打が出なかった。エースで４番の阿比留は３回戦から決勝までの４試合に先発。「攻撃では相手（深田投手）の球威に押され完全に負けました。投球は肝心な所でストライクが入らずボールが先行してしまったことが敗因です」と語った。対馬は１０年８月に開催の第３回大会で過去最高の３位に入り今回はそれを越える結果となった。阿比留は「負けたけど対馬には胸を張って帰れます」と笑みを見せた。

対馬は試合終了後、石垣島ばいーぐるズらと記念撮影や会話を楽しんだ。中村嶺志主将は「野球だけでなく他のチームと交流もでき最高の思い出になりました。明日からの現実に戻りたくないです…」と、離島仲間との別れを惜しんだ。対馬ヤマネコボーイズは８月上旬、市内の中学８校のメンバーで結成。全員が小学時代に少年野球チームがないことからソフトボールを経験した。中学校も野球部があるのは２校しかなく大半のメンバーが陸上部やテニス部などに所属している。阿比留は「大好きな地元の仲間たちと約２週間一緒に野球も出来たし飯も食べることが出来たので満足です」と話した。（ニッカンcomより）



表彰式

優　勝

種子島中学校

準優勝

対馬ヤマネコ
ボーイズ

最優秀選手賞には、決勝で好救援をした上に決勝打も放った種子島中の深田球児が選ばれた。また、優秀選手賞は決勝で先制打を放ち投げても先発して好投した対馬ヤマネコボーイズの阿比留魁士に金属製バットと村田兆治氏のサイン入りボール、佐渡産コシヒカリ30kgが贈呈された。

村田兆治特別賞は村田氏が「将来性がある」と期待する佐和田中の遠藤壮馬投手が選出され、それぞれに記念品や開催地の新潟佐渡市産米のコシヒカリ３０kgなどを受け取った。

ほかにもチームを対象としたアシックス賞を、隠岐の島あんやらーずと種子島中が受賞。隠岐の島は開会式の入場行進での元気な姿が評価された。種子島中は優勝した野球の実力以外にも、朝から自主的に球場周辺でごみ拾いをしていたこと、誰にでも礼儀正しくあいさつする姿勢が認められた。

（日刊スポーツcomより）

野球教室

キャッチボールクラシック

さよならパーティー

第１回大会

平成20年７月25日～28日
東京都：大島町

参加：10

【一回戦】 隠岐の島（島根） 2－1 屋久島（鹿児島）
伊豆大島（東京） 7－0 奥尻（北海道）
【二回戦】 隠岐の島（島根） 6－0 八丈島（東京）

対馬	0	0	0	1	0	0	0	1		2
鳥羽(三重)	0	0	0	0	0	1	0	2x		3

伊豆大島（東京） 4－3 佐渡（新潟）
上島（愛媛） 13－0 三宅島（東京）
【準決勝】 隠岐の島（島根） 1－0 鳥羽（三重）
伊豆大島（東京） 8－0 上島（愛媛）
【決　勝】 隠岐の島（島根） 3－1 伊豆大島（東京）

第２回大会

平成21年８月６日～９日
島根県：隠岐の島町

参加：16

【一回戦】 奥尻（北海道） 2－0 屋久島（鹿児島）
礼文（北海道） 2－0 八丈島（東京）
西郷南中（島根） 7－5 鳥羽（三重）
壱岐（長崎） 4－2 南種子（鹿児島）
五箇中（島根） 23－0 三宅島（東京）
伊豆大島（東京） 3－0 佐渡（新潟）
西ノ島（島根） 5－3 甑島（鹿児島）

対馬	0	0	5	0	5					10
上島(愛媛)	0	0	0	0	0					0

【二回戦】 奥尻（北海道） 9－3 礼文（北海道）
壱岐（長崎） 6－1 西郷南中（島根）
伊豆大島（東京） 4－1 五箇中（島根）

対馬	0	1	0	1	3	0	0			5
西ノ島(島根)	0	0	0	1	0	0	0			1

【準決勝】 壱岐（長崎） 8－0 奥尻（北海道）

対馬	0	0	0	0	1	1	1			3
伊豆大島	0	0	1	0	1	0	2x			4

【決　勝】 壱岐（長崎） 6－2 伊豆大島（東京）

第３回大会

平成22年８月18日～21日
鹿児島県：種子島

参加：17

【一回戦】 種子島中（鹿児島） 18－0 三宅島（東京）
【二回戦】 隠岐の島（島根） 3－2 南種子（鹿児島）
屋久島（鹿児島） 10－0 甑島（鹿児島）
八丈島（東京） 5－1 鳥羽（三重）

久米島(沖縄)	0	0	0	0	0	0				0
対馬	0	0	0	0	2	X				2

壱岐（長崎） 6－0 中種子（鹿児島）
伊豆大島（東京） 1－0 上島（愛媛）
佐渡（新潟） 7－0 礼文（北海道）
種子島中（鹿児島） 16－0 奥尻（北海道）
【三回戦】 隠岐の島（島根） 1－0 屋久島（鹿児島）

八丈島	0	0	0	0	0	0	0			0
対馬	0	0	0	2	0	0	X			2

壱岐（長崎） 6－5 伊豆大島（東京）
種子島中（鹿児島） 3－2 佐渡（新潟）
【準決勝】

対馬	0	0	0	0	0	0	0			0
隠岐の島	0	1	1	0	2	0	X			4

種子島中（鹿児島） 9－2 壱岐（長崎）
【決　勝】 隠岐の島（島根） 5－3 種子島中（鹿児島）

第４回大会

平成23年８月18日～21日
愛媛県：上島町

参加：19

【一回戦】

対馬	1	0	0	0	0	3				4
伊豆大島	1	0	0	0	0	2				3

佐渡（新潟） 4－0 八丈島（東京）
甑島（鹿児島） 6－2 鳥羽（三重）
【二回戦】

対馬	0	0	0	2	0	0	6			8
屋久島	0	1	1	0	0	0	3			5

久米島（沖縄） 11－1 礼文（北海道）
隠岐の島（島根） 5－2 中種子（鹿児島）
【二回戦】 佐渡（新潟） 7－4 新上五島（長崎）
西ノ島（島根） 6－3 南種子（鹿児島）
上島（愛媛） 27－3 三宅島（東京）
奥尻（北海道） 4－3 種子島中（鹿児島）
壱岐（長崎） 5－0 甑島（鹿児島）
【三回戦】

久米島	0	0	0	0	0	0	2			2
対馬	0	0	0	0	0	1	0			1

隠岐の島（島根） 8－7 佐渡（新潟）
上島（愛媛） 2－0 西ノ島（島根）
壱岐（長崎） 6－3 奥尻（北海道）
【準決勝】 久米島（沖縄） 4－8 隠岐の島（島根）
上島（愛媛） 1－0 壱岐（長崎）
【決　勝】 三回裏降雨によりノーゲーム
久米島＆上島の2チーム優勝

第５回大会

平成24年８月27日～30日
東京都：八丈町

参加：21

【一回戦】 直島（香川） 9－2 八丈島（東京）
久米島（沖縄） 19－0 三宅島（東京）
屋久島（鹿児島） 6－0 気仙沼（宮城）
南種子（鹿児島） 10－2 種子島（鹿児島）

南大東(沖縄)	0	1	0	0	0	0				1
対馬	1	0	0	2	2	X				5

【二回戦】 直島（香川） 10－1 甑島（鹿児島）
久米島（沖縄） 2－1 壱岐（長崎）
上島（愛媛） 1－0 五島（長崎）
屋久島（鹿児島） 5－3 鳥羽（三重）
新上五島（長崎） 6－1 南種子（鹿児島）
佐渡（新潟） 4－3 伊豆大島（東京）
隠岐の島（島根） 6－0 西ノ島（島根）

礼文(北海道)	0	0	0	0	1	0				1
対馬	0	0	1	1	1	X				3

【三回戦】 久米島（沖縄） 12－1 直島（香川）
屋久島（鹿児島） 2－1 上島（愛媛）
新上五島（長崎） 3－2 佐渡（新潟）

隠岐の島	0	1	0	0	0	0	1			2
対馬	0	0	0	0	0	1	0			1

【準決勝】 久米島（沖縄） 10－1 屋久島（鹿児島）
隠岐の島（島根） 9－3 新上五島（長崎）
【決　勝】 隠岐の島（島根） 2－1 久米島（沖縄）

第６回大会

平成25年８月19日～22日
長崎県：壱岐市

参加：22

【一回戦】 屋久島（鹿児島） 13－0 礼文（北海道）
西ノ島（島根） 11－0 甑島（鹿児島）

対馬	0	1	0	2	0					3
隠岐の島	0	0	2	0	4					6

直島（香川） 6－2 八丈島（東京）
五島（長崎） 5－4 鳥羽（三重）
壱岐（長崎） 12－0 気仙沼（宮城）
【二回戦】 屋久島（鹿児島） 11－0 三宅島（東京）
久米島（沖縄） 8－0 新上五島（長崎）
西ノ島（島根） 2－1 上島（愛媛）

伊豆大島	3	1	0	0	0	2				6
対馬	0	0	0	1	0	2				3

南種子（鹿児島） 8－3 直島（香川）
五島（長崎） 3－2 奥尻（北海道）
佐渡（新潟） 5－4 中種子（鹿児島）
壱岐（長崎） 7－0 種子島中（鹿児島）
【三回戦】 久米島（沖縄） 5－4 屋久島（鹿児島）
伊豆大島（東京） 6－2 西ノ島（島根）
五島（長崎） 3－2 南種子（鹿児島）
壱岐（長崎） 5－4 佐渡（新潟）
【準決勝】 久米島（沖縄） 7－6 伊豆大島（東京）
壱岐（長崎） 5－1 五島（長崎）
【決　勝】 壱岐（長崎） 3－1 久米島（沖縄）

第７回大会

平成26年８月19日～22日
新潟県：佐渡市

参加：23

①大石　孝徳(豊玉中)

②大島　卓真(豊玉中)

③吉野　友基(雞知中)

④平尾　浩太(久田中)

⑤満井　貴弘(雞知中)

⑥平川　魁晟(比田勝中)

⑦須川　慶弥(西部中)

⑧庄司　裕豪(比田勝中)

⑨島﨑　峻也(厳原中)

⑩中村　嶺志(西部中)

⑪小宮　誠也(久田中)

⑫小島　飛翔(東部中)

⑬中島　泰志(豊玉中)

⑭齊藤　大夢(浅海中)

⑮阿比留魁士(厳原中)

⑯早田　楓真(厳原中)

⑰原田　龍誠(豊玉中)

⑱糸瀬　銀司(雞知中)

発行日　平成26年8月31日
編　集　吉野　徹
（対馬軟式野球連盟理事長）
記　録　中村　龍一 ＝大会応援父兄
写　真　中島　重幸 ＝大会応援父兄
〃　早田　竜介 ＝大会随行者
（対馬市総合政策部 政策企画課）